

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2012 助成の概要と推薦理由

助成番号 12-1-1

プロジェクト名 小児病棟/小児センター 絵本カーニバル
団体名 特定非営利活動法人絵本カーニバル
代表者名 目黒 實
所在地 東京都
助成額 250万円
助成期間 2012年7月1日～2013年3月31日
設立年 1997年
U R L <http://www.ehoncarnival.com>



「絵本カーニバル」がやってくると、病棟に絵本による色鮮やかでぬくもりのある空間が出現する。コーナーに置かれた子ども用の小さな木の椅子に座り一心に絵本を読む子ども。お母さんと並んで座りお話を読んでもらう子ども。それぞれの時間がそこにはある。近年では、病棟保育士やチャイルドライフ スペシャリスト、臨床心理士などの導入で、子どもや家族を支える環境が整えられてきているが、日常生活と同じような遊び、学び、体験やコミュニケーションは制約されがちである。そのような中で、治療とは違う日常的な世界の空間の中でほっとしたり、想像力を膨らませる時間を持つことは大切である。

この団体は、絵本・アート・音楽・映像などの文化芸術活動を通じて、子どもの心と身体、感性と感覚の発達を促すことを目指し、全国各地で体験型絵本イベントや、小児病棟などにおける活動を展開している。

今回の助成では、島根大学附属病院と山梨大学医学部附属病院で絵本カーニバルを開催する。それぞれ2週間程度継続して行われ、その間にはワークショップとして、絵本作家によるお話とものづくりの会や、音楽療法士による音楽体験を楽しむ会なども開催し、感性や創造性を刺激する機会を提供する。特に今回は、地域NPOや地元の図書館などと協力しながら取り組むことで、病院への円滑な導入を図り、開催期間中の子どもへのフォロー力を向上させ、カーニバル終了後に病院と地域が協力することによって次への取り組みにつながることも期待して助成した。